

1. 件名：東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請に係る面談

2. 日時：令和2年8月20日(木)13時30分～15時00分

3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野企画調査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、加藤原子力規制専門員、  
佐々木技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

事業計画統括部 次長

再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他11名

5. 要旨

○原子力機構から、資料に基づき東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請への対応状況について説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料1について)

- ・ HAW及びTVF以外のその他施設の評価に当たり、放射性物質の流出をかなり保守的に見積もり評価された一次スクリーニングを踏まえ、対象とした施設等を実際の条件に即して行われるウォークダウン等の詳細調査については、当該調査におけるリスク評価及び対策の内容の検討手順をフローチャートで整理して示すこと。
- ・ 今後の説明にあたっては、閉じ込めている放射性物質を有意に施設外に流出させないことを基本とし、再処理施設内のインベントリに対して漏れなく検討していることを示すこと。

(資料2について)

- ・ 廃止措置計画用設計竜巻の風圧力及び気圧差による荷重に対して、最大応力比が0.98と評価されている配管があるが、当該評価は簡易的手法により実施されたものであると推測されることから、保守性を適切なものとして再評価して説明すること。

○原子力機構より、承知した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：分離精製工場(MP)等の津波防護に関する対応について

資料2：HAW及びTVFの竜巻影響評価の整理票について

資料3：東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール(案)について